

# たかまつしんきん News—Spot

## せとうち観光専門職短期大学の瀬戸内・四国地域の観光地域創生プロジェクトにかかる 安村学長との対談について

高松市瓦町1丁目9番地2  
高松信用金庫  
理事長 大橋和夫

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今般、高松信用金庫 理事長 大橋和夫と、せとうち観光専門職短期大学 学長 安村克己氏による対談を実施いたしました。本対談は、観光人材の育成を担う同学と産学官金連携による地域創生を推進する当金庫が「観光」を軸に瀬戸内・四国地域の未来を考える貴重な機会となりました。

### ◆ 対談の目的

人口減少、少子高齢化が進む瀬戸内・四国地域において、地域を担う観光人材育成のあり方を考察し、地域の多様なプレイヤーが連携した地域創生の取り組みを推進するきっかけを探ることを目的としています。

### ◆ 対談ハイライト

対談では、大橋理事長が掲げる「感心・感動・感謝」の「人生の三冠王」という理念や、地域活性化に向けた当金庫の多岐にわたる取り組みが紹介されました。特に、女性起業家を支援する「キャリスタ塾」、地域の子どもたちに郷土愛を育む「キッズクラブ」、若者の交流を促進する「杉の子会」など、地域に根差した活動について深く掘り下げられました。

また、対談の終盤では、地域を支える若者へのメッセージとして、大橋理事長から「地域に関心を持ち、感動から行動を起こすことの重要性」が語られました。

安村学長からは、長年の観光地域振興研究の視点から、高松信用金庫が実践する「非営利・相互扶助」の理念に基づく地域連携の重要性が強調されました。また、観光が地域の文化や自然環境を大切にし、持続可能な地域社会を築く上で不可欠な要素であるとの見解が示されました。

また、同学の教育方針である「世界を見渡して、地に足をつけて活動しよう」と共通する考えであると述べ、地域に根差した人材育成の重要性を再確認しました。



高松信用金庫は今後、教育機関との連携も強化し、香川県の地域活性化や持続可能な発展に貢献してまいります。本対談の詳細は、せとうち観光専門職短期大学のホームページでもご覧いただけます。

ホームページ▶ <https://web.seto.ac.jp/lab/tourism-project/>

以上